



図書館紹介

第5回 豊洲図書館・枝川図書サービスコーナー
砂町図書館

豊洲図書館・枝川図書サービスコーナー



豊洲図書館は平成元年5月に区内で7番目の図書館として開館し、その後平成27年9月、豊洲シビックセンター内に移転しました。最寄り駅から徒歩1分と便利で、日中はお子さんやそのご家族、シニア世代の方々が大勢来館し、夕方からは学生や仕事帰りの方が多くなります。

枝川図書サービスコーナーは、枝川区民館の1階にあり、区立図書館で所蔵している資料の検索・取り寄せ(予約)・貸出・返却ができる窓口です。窓口の装飾や、おすすめの図書を紹介する「枝川の本棚」が喜ばれています。



9階10階ラウンジ



枝川図書サービスコーナー

豊洲図書館

所在地:江東区豊洲2-2-18(豊洲シビックセンター9・10階・11階の一部) TEL:03-3536-5931 FAX:03-3532-5075
最寄り駅:東京メトロ有楽町線 豊洲駅(徒歩1分) 新交通ゆりかもめ 豊洲駅(改札フロア直結) 最寄りバス停:都営バス豊洲駅前(徒歩2分)

枝川図書サービスコーナー

※所蔵資料・閲覧席はございません。
所在地:江東区枝川3-6-16 枝川区民館1階 TEL:03-3647-6860 FAX:03-3647-6860
最寄りバス停:都営バス枝川2丁目(徒歩2分)

砂町図書館



砂町図書館は、平成2年5月に区内8番目の図書館として、砂町文化センターの1階に開館しました。砂町銀座商店街に隣接しているため、地元の方で賑わう地域密着の図書館です。

文化センターの2階に石田波郷記念館が併設されており、図書館も「石田波郷コーナー」を設置し俳句の資料を集めています。また児童コーナーの「おはなしのへや」は、小さなお子様連れのご家族に多く利用されています。



石田波郷コーナー



おはなしのへや

所在地:江東区北砂5-1-7(砂町文化センター1階) TEL:03-3640-4646 FAX:03-3640-4610
最寄りバス停:都営バス 北砂2丁目・北砂3丁目・北砂4丁目・北砂5丁目・北砂7丁目(各徒歩約10分)

開館日・休館日のお知らせ

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4				1					1	2	3	4	5		
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												

■ 全館休館日 ■ 古石場・砂町は休館となります。
○ 枝川図書サービスコーナーは、■ ○ が休みとなります。

特別整理期間(7~9月)

館名	期間
豊洲	7/7(火)~7/9(木)
江東	9/14(月)~9/17(木)
東雲	9/23(水)~9/25(金)

新型コロナウイルス感染症の状況により、開館日・休館日や特別整理期間に変更の可能性があります。最新の開館状況は、江東区立図書館ホームページをご確認ください。

江東区立図書館HP▶



発行:江東図書館
<https://www.koto-lib.tokyo.jp> 電話 03-3640-3151 FAX 03-3615-6668 【2020夏】Vol.15



備えあれば憂いなし



近い内に起こる確率が高いとされている首都直下地震や、ゲリラ豪雨による水害などの災害に備え、自分や大切な誰かを守るために、「防災」に関する本を読んでみませんか？

“今”からできる!日常防災

永田宏和、ボーイスカウト日本連盟/監修
池田書店 ISBN:978-4-262-16036-8



地震の後のようなことが起こるか具体的な例を挙げ、それに対して日頃どのような備えをしているといいのかを解説しています。事前に知っておくべき知識や情報の集め方についても載っています。

平井信行の気象・防災情報の見方と使い方

平井信行/著
第一法規 ISBN:978-4-474-06743-1



線状降水帯、氾濫危険情報といった気象・防災用語の見方や使われ方を知って災害から身を守る方法を、クイズ形式で詳しく説明しています。新聞に掲載された著者のコラムのまとめも載っています。

被災したあなたを助けるお金とくらしの話

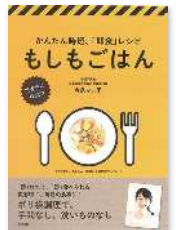
岡本正/著
弘文堂 ISBN:978-4-335-55200-7



弁護士である著者が、平常時にこそ読んでおいてほしいと、災害に遭った時に私たちを助けてくれる法律や制度の知識を「お金の支援」、「生活を取り戻す」など7つの章に分けて紹介しています。

かんたん時短、「即食」レシピ もしもごはん

今泉マユ子/著
清流出版 ISBN:978-4-86029-450-2



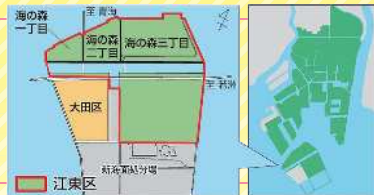
非常食として何をどのようにに備蓄したらよいかや、災害時だけでなく非常食を使った日常の時短レシピとしても使えるメニューを多数紹介しています。備蓄した食品を入れ替える際などに、試しに作ってみてはいかがでしょうか？

江東区「海の森」誕生記念特別企画

昔の江東区ってどんな姿？

昨年11月に江東区に編入された新たな土地。その土地の町名が、令和2年4月1日付で正式に決定しました。その名は「海の森」。

この歴史的な出来事を機会に、過去の江東区がどんな姿だったのか振り返ってみたいと思います。



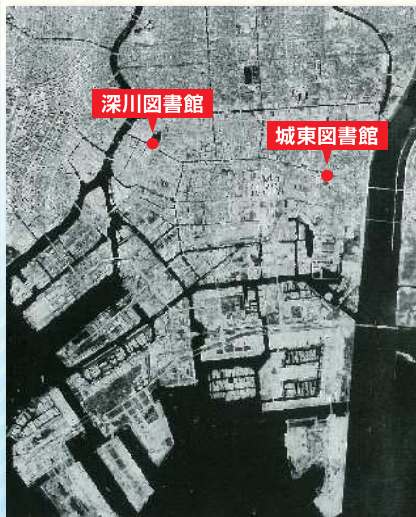
江東区は、当時の深川区と城東区が合併して昭和22年に誕生しました。当時の面積は20.35km²、現在の面積40.16km²（※「海の森」含めず）の約半分でした。

左は昭和22年の航空地図です。今と比べると海岸線がかなり内陸に近いですね。



右は昭和50年の航空地図です。江東区は面積が31.58km²まで広がりました。今の地図に大分近づいてきましたね。当時はまだ深川図書館と城東図書館の2館体制。住まいが図書館から離れていて来館できない住民に対しては、「自動車図書館「しおかぜ号」」が区内13か所のステーションを巡回して貸出サービスを行い、年間約62,000冊の貸出実績がありました。

今回の編入で、さらに面積が増える江東区。今後、この新しい町がどのような発展を遂げていくか楽しみですね。



(航空写真は「江東の昭和史」から引用)

～戦後75年～

戦争中、疎開先でのこどもたちの生活を知っていますか？

疎開とは

いまから75年以上前、日本は第2次世界大戦の最中にあり、空襲の恐れがある都市部のこどもたちを、その危険の少ない地方へ住ませるとい「疎開」の政策が進められました。はじめは、親戚の家などを頼る「縁故疎開」が主でしたが、地方に親戚がないこどもも多く、昭和19年には、国民学校（今の小学校）の学童を親元から離して地方で生活させる「学童集団疎開」が行われました。江東区（※当時は深川区と城東区の2区に分かれていました。）においても、（今の小学）3～6年生の学童およそ1万2千人のこどもたちが、学校単位で新潟・山形の寺や旅館に疎開し、親元を離れて1年以上の集団生活を余儀なくされました。

授業風景



疎開先での生活

疎開したこどもたちの多くは、疎開先の国民学校に編入し、現地の先生による授業を受けました。東京から引率してきた先生は、主に学寮の運営と生活指導を行いました。授業が終わると水運びや薪拾い、畑仕事の手伝いなどをして過ごしました。また、地域のこどもたちと一緒に遠足や運動会に参加することもありました。しかし、戦争がはげしくなるにつれ、食料や生活用品の不足に苦しめられます。また、衛生状態も次第に悪くなり、ノミやシラミに悩まされるなど、厳しい生活を強いられました。



新運び作業

空襲と戦後

1945年3月10日の東京大空襲によって、江東区のほとんどの地域が壊滅的な被害を受け、卒業準備のため疎開先から帰京していた6年生の学童の多くが命を落としました。戦後、疎開学童は家族に引き取られ、東京に戻りましたが、空襲などで家族や親類を失い、孤児となったこどももいました。



空襲前日に撮影した卒業記念写真

学童集団疎開資料室



学童集団疎開資料室と江東区学童集団疎開の記録『疎開』

江東図書館内にある学童集団疎開資料室では、学童が疎開先で書いた日記帳や、東京に残った親が疎開先のこどもへ宛てた絵手紙など、疎開当時の文書、生活用品、手紙、写真等を展示・公開しています。訪れた方からは、「当時のことを思い出した。いまのこどもたちにも見てほしい」、「戦争の怖さがわかり、いまの生活の豊かさに気づかされた」といった感想が寄せられています。

また、江東区における学童集団疎開の記録をまとめた冊子『疎開』を発行し、図書館全館で配布しているほか、ホームページ上でも見ることができます。ぜひご覧ください。



冊子疎開

問合せ先

江東図書館 サービス推進係 TEL:3640-3151 FAX:3615-6668

新型コロナウイルス感染症の状況により、開館日・休館日や特別整理期間に変更の可能性があります。最新の開館状況は、江東区立図書館ホームページをご確認ください。